



エコタイムズ



2020年度避難訓練

2020年度避難訓練が12月に各事業所、工場で行われました。
 年末の忙しい時ではありましたが、災害はいつどこで起こるかわかりません。いつ来ても戸惑うことなくスムーズに命を守る行動がとれるように訓練して確認しておくことは大切だと思います。
 「備えあれば憂いなし。」諺は経験に基づいてできたものです。先人の教えを肝に銘じておきたいと思います。



尼崎第一工場に集合して点呼



和歌山工場工場で点呼後全員で避難。

報告	審査・承認	作成者
社長 安全監理室 室長	安全衛生 責任者	作成日: 2020.12.15 作成者: 大前
火災・地震訓練計画書(記録) 毎年度 10月に実施すること		
実施日	実施場所	実施事業所
2020年12月25日	和歌山工場	大前・高木
訓練内容	訓練目的	訓練予定 時間
訓練目的 <地震発生後の津波による浸水を想定した避難> 火災 参加者 1F: 東野、小野林、松井、林、温、金、中川、丸山、河田、ラントウイ 真、子一、佐々木、マイン、チャム、ト、藤藤 2F: 藤堂、真谷、岩田、大和田、大前、恒藤、真木 工場 島村、矢野、岩本、ニルマニ、小寺、高井、ティン、ハイ、ピン、チュオン、テライン 赤7シ、ダン、パン、ブン、ゴ、バン、フン、クワン、アジ、ダン 注) 1. 避難場所は、阪神尼崎駅北側遊歩道の立体歩道となります。近隣の公共施設ビルも避難可。会社から3.0km、徒歩約45分を想定。 2. 川の津波想定では、尼崎市付近で津波の最高水位4m、最短到着時間11.7分とされる。 訓練手順フロー(役割分担含む) 写真撮影: 時間測定: 7分	13:00~13:20	
① 大地震が発生し、社内アナウンス後に避難を開始する。 ② 事業所も工場も全員。それぞれの1次避難場所へ集まる。2Fからは、外階段を 全員 使用。 (1F誘導担当: 避難を呼びかけ。人数を数える) 誘導者: 小野林 (2F誘導担当: 避難を呼びかけ。人数を数える) 誘導者: 大前 (工場誘導担当: 避難を呼びかけ。人数を数える) 誘導者: 恒藤 一次避難場所は、 ・事業所 1F、2F、3F、4Fの方は事業所正面入口 ・工場の方は工場入口の広場 ③ 携帯電話・スマホを羽いて情報を収集。津波が発生するとの情報を得る。 情報担当: 藤藤 工場長に口頭もしくは携帯電話で伝える。 ④ 所長、工場長は避難を決定。一次避難所の全員に口頭で避難することを伝える。 藤堂 所長、工場長は、互いに携帯電話で避難することを伝える。 島村工場長 ⑤ 誘導者は、避難する人数を恒藤担当に連絡する。 恒藤担当は確認する。 誘導者: 小野林、大前、恒藤 ⇒ 恒藤担当: 真 ⑥ 全員、避難場所(阪神尼崎駅北側の遊歩道)に向け徒歩で出発。 全員 所要時間: 約40分 ⑦ ただし、今回の避難は、東海幹線バス停手前交差点とする。 避難場所(交差点)に移動。到着後に避難人数と避難の所要時間を誘導者は 確認し、報告担当に連絡する。 誘導者: 小野林、大前、恒藤 ⇒ 報告担当: 真 ⑧ 報告担当は、避難人数と避難の所要時間を所長、工場長に報告する。所長、 工場長は、避難開始時と避難人数であることを確認して、今回の訓練を終了する。		
訓練結果	安全衛生責任者による評価・所長	訓練所要 予定時間
訓練手順フローの見直し必要の有無	□: 有り □: 無し	20 分
備考	12月25日13:00に地震発生のアナウンスをしますので全員、一次避難場所にて避難を開始してください。	

- 尼崎事業所・工場 12月25日 13:00~13:20
地震発生後の津波による浸水を想定した災害。阪神尼崎駅北側遊歩道へ向かって非難しました。
- 和歌山工場 12月23日 13:00~13:10
大地震発生を想定して避難。工場長の判断で避難開始。岩出小学校にて避難しました。
- 本社 12月21日 火災発生 台所で火災発生。重要書類をもって避難。

避難訓練計画書を作成して実施しています。
 エコアクション委員会



本社は消火器を使って消火練習

第3位 尼崎工場



【コメント】

- ・トイレの修理までやっちゃう事、敬服しました。
- ・置き場を決めると効率が上がりますね。

社長特別賞 和歌山工場

【コメント】

- ・脚立の立て掛けは、気になっていましたが、うまく収まりましたね。



2020年度5Sコンテストを開催して

専務取締役 李 明子

2014年3Sコンテストをソルテックで開催するようになって今年は5回目の開催になります。今回の一番の成果は現場参加での開催ができたことです。

この6年間ベトナム参加もあつたりしましたが、現場に参加してもらう方法が考えられずいつも残念に思っておりました。しかし、今年には新型コロナがあり、全員が集まって報告し合うことも難しい状況が生まれました。このような状況の中で発想の転換が生まれました。コロナの影響で業務としてもリモート会議が当たり前になり、この方法であれば、現場参加も可能ではないかと考え計画しました。実際に実行するにあたり、紆余曲折はありましたが、大前委員長を筆頭に委員全員協力の下実現することができました。現場参加実現には、陳常務、馬谷部長のご協力です。工事部会などを通し周知して頂いたことが大きかったと思います。そして何より5Sコンテストが成功できたのは、社員全員のご協力のお陰と心より感謝しております。エコアクション委員の皆さんに、「今回の5sコンテストに取り組んでどうでしたか？」という質問をしました。様々な感想がありましたが、その中で、尼崎工場新入社員でエコアクション活動も初めてだったTRINH VAN AN (チン バン アン) さんの意見は5Sコンテストを何故しているのか？その意義を正に言い当てたものでした。**「初めてで最初はよくわからなかったが、5Sコンテストをしたら、仕事の改善ができてよかった。これからも改善していきたいと思います。」**

コンテストは活性化をする起爆剤です。ソルテックがエコアクション21に取り組んでいること。5S活動を推進している会社であることを常に意識し、現場、工場、事務所が、ムダを無くし効率のよい作業環境を作っていくことを進めて欲しいと思います。どのような活動も継続し、活性化するというのは本当に難しいことです。でも「創造と挑戦そして進化へ」私たちにこの気持ちがある限り、そして社員の皆さんの協力があればきっと進んでいけると確信しています。今後ともエコアクション活動へのご協力を心よりお願いします。来年もやりますので、皆さんお楽しみに！！楽しくやるのが継続できる秘訣だと思います。